J-クレジット制度
東北地域事例集

2021

J-クレジット
創出1

みやぎスマエネ倶楽部事務局

宮城県環境生活部 再生可能エネルギー室 再エネ・省エネ推進班
主事　梅澤優太さん

宮城県 環境生活部 再生可能エネルギー室
再エネ・省エネ推進班

所在地　〒980-8570　宮城県仙台市青葉区本町３丁目８番１号
電 話　022-211-2655
URL　https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/saisei/

創出量 **2,642** トン/年

□ 県内産クレジットを創出

宮城県では、令和元年度から、住宅に設置された太陽光発電設備から生み出される CO_2 削減量を集約し、クレジット化する取組を進めております。
太陽光発電設備を設置する方に対して、「スマートエネルギー住宅普及促進事業補助金」により支援を行っていますが、この補助事業を活用される方に、「みやぎスマエネ倶楽部」にご入会頂いています。
各住宅から発生する CO_2 削減量は、大きくはありませんが、県が集約してクレジット化することで、企業等に売却することができます。令和３年 10 月末現在で、「みやぎスマエネ倶楽部」の入会者は約 4,600人となっています。

□ 創出されたクレジットの売却について

令和２年度の CO2 削減量は 2,642t-CO_2となり、その後、国からのクレジット認証を経て、今年 11 月に、株式会社 北洲様などに全量の売却が完了しました。
購入者の募集にあたっては、使用電力の再エネ化 100% を目指している県内企業様に直接お声がけをする等して、「クレジットの地産地消」の実現に取り組みました。
クレジットの収益については、県の環境教育事業等への活用（令和４年度以降）を予定しており、県としては、今後も継続してクレジットを創出していきたいと考えています。

QRコードから取材時の動画を視聴できます。

購入された会社を訪ねました。

株式会社 北洲

所在地　宮城県富谷市成田 9-2-2
電 話　022-348-3011
URL　https://www.hokushu.net

総務人事部 課長　佐々木貴成さん

1979年から寒さに強い、高断熱高気密の高性能住宅をお客様に提案してきました。
脱炭素社会実現にむけ当社では手始めに本社社屋の使用電力の排出 CO_2 分のカーボンオフセット導入を決めました。大手企業でしたらその資本力により手広く脱炭素を推し進められますが、地方企業はなかなか最初の一歩が踏み出せません。
様々な選択肢の中で迅速に実践するための手段としてカーボンオフセットを検討し、当社で展開する各拠点エリアで創出されたクレジットも含め全国を対象に検討しました。最終的には本社所在地の「みやぎスマエネ倶楽部」の創り出すクレジットが当社の事業と親和性があり「収益を地域の環境教育事業に使用する目的」に賛同できたので購入を決断しました。
環境クレジットを創出するプロジェクトの種類はたくさんあり、地方企業においても主旨や目的への「共感」「地域循環型」でオフセットすることのきっかけになればと考えています。

J-クレジット
創出2

松月産業株式会社

重油ボイラーは年に１回の分解整備が必須だが、灯油ボイラーに替えると整備サイクルが２年に１回。ガス化するとさらに点検のサイクルが長く、地下タンクも必要なくなる。

LED 看板は薄型になりロングライフ。

所在地　〒980-0021
宮城県仙台市青葉区中央２丁目６番８号
電 話　022-225-8001
URL　https://www.bh-green.co.jp

創出量 **94** トン/年

□ 無駄なコストを下げ、良いサービスを提供したい。

設備の改修には一度で何千万円というお金がかかるので、国や自治体の補助金を活用して機器類を更新しています。
例えば暖房に使うボイラーもかつては重油でしたが、定期点検で部品類の交換が増えてくると「あ。もう更新のタイミングかな」と、ガス化してきました。重油ボイラーは古くなると煙の量も増え、タンクも劣化し耐圧試験にもお金がかかるからです。
電気機器は更新時に計測機器を取り付け、デマンド化しています。とくに東北では、朝の暖房やヘアドライヤーなどで一気に使用量が増えアラートが鳴りますので「どこからシャットダウンするか」をあらかじめ計画を立てて対応しています。なぜなら警報値を超えると電気の基本料が高くなってしまうからです。
月に一回の業務改善委員会を開催して効率を良くすることを20年以上続けています。日常の電気、水道の使い方から接客まで、この会議ですべてを見直しています。「どうしてこんな数値になるのか？」「ここはよくディスカウントできている」などの情報は現場に戻し、明確な理由のないものに関しては対策を立ててきました。
もともとホテルはサービスを提供することが仕事なので「お客様に忍耐していただく」「ご協力をいただく」ことを、ことごとく避けております。究極のサービスは「お客様の制約をなくす」ですが、私共は制約を価格に反映しますから「できれば環境のため協力してください」とのスタンスをとっております。無駄を減らすと経費が圧縮され利益は上がる、それが次の投資につながって人的協力ができたりします。「世の中のためでもあり、自社のためでもある。」これが一番大事なところだと考えます。
ホテルのサービスとは逆行する部分でもあるので、お客様に「ご協力いただく」ことは永遠のテーマだと思います。

お風呂の節水も協力いただこうと、可愛いシールを貼っています。

■ 補助金を活用して機器類を更新

2014年 ●● グリーンパーク
2016年 ● グリーンライン
●● グリーンパシフィック
2017年 プレミアムグリーンプラス
2018年 ●● グリーンウィズ
2019年 グリーンマーク
プレミアムグリーンヒルズ
2020年 ● プレミアムグリーンプラス

● 国土交通省　既存建築省エネ化推進事業補助金
● 仙台市　省エネルギー・再生可能エネルギー設備導入支援補助金
● 国税庁　高度省エネルギー増進設備等を取得した場合の特別償却

チラーをヒートポンプ化
ボイラーを重油からガス化
ボイラーを灯油からガス化
照明の人感センサー導入
空調機を新型に交換
断熱材の導入
照明 LED 化

お話を伺った

共有スペースをLED化した、プレミアムグリーンプラス

J-クレジット
活用1

SENDAI 光のページェント実行委員会

2020SENDAI 光のページェント実行委員会 実行委員長 髙橋進伍さん

所在地　〒980-0811　宮城県仙台市青葉区一番町3丁目9番10号 仙台日の出ビル 4F
電 話　022-261-6515
URL　https://sendaihikape.jp

オフセット　カーボンオフセット量 **7**トン

※松月産業株式会社によるイベント協賛。
ホテルグリーンチェーンにおける照明設備の更新（LED化）にて創出された排出権を活用しています。
松月産業株式会社については、本誌の創出2に掲載。

□ 賑わいを作って「街の観光資源にしていこう」そして環境とも共存を選ぶ

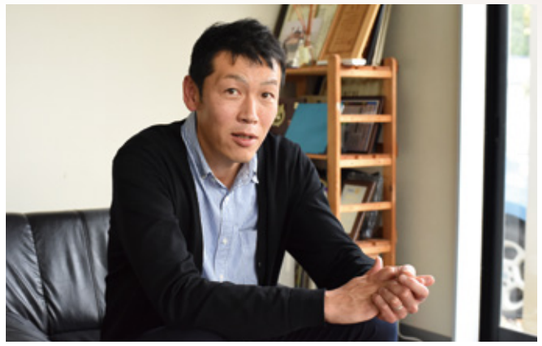
政令指定都市においては、まちづくりとして開催される大規模事業は多くが行政主体ですが、仙台は独特で、市民団体主体が多いです。「仙台・青葉まつり」「仙台七夕まつり」「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」「みちのく YOSAKOI まつり」「SENDAI 光のページェント」といった5大祭りがありますが、全て市民団体主体で、街中の商店街と連携しています。
イベントがあるから街中が潤う。そして、街中があるからイベントも開催できるといった連携の構図で、四季折々のイベントとともに、仙台の街は経済発展をしてきました。
定禅寺通を照らすイルミネーションは、使用電力量を積算しグリーン電力証書でまかなっています。そして市民広場・勾当台公園で食事やビールを提供する企業ブース、おもてなしステーションなど、各ブースの発電機から発生する二酸化炭素は、松月産業株式会社が創出した排出権のイベント協賛※でオフセットしています。
所属している実行委員会メンバーはおおよそ70名、全ての人がボランティアとして参加しています。
20年前は、近年のようなイベント類が無く「電球を灯す」ことだけに注力していました。ボランティアですので「言われたこと、やってきたことを実行し、地域貢献すれば良い」という姿勢でした。いま、実行委員会は組織化を進め「自ら考えて新しいことへ取り組んでいくべき」との改革の中で、環境意識も強くなってます。電力消費量を削減する目的でLED化も進めました。そうやって様々な課題を追求する中で、カーボンオフセットが話題に上り、実現できたんです。
光のページェントで賑わいを作って、街の観光資源にしていこう。そして観光であれば、環境に配慮した取り組みも必要。実行委員会メンバーの環境への意識は、SDGsもあり近年どんどん高まっています。

LED化当初は電球色の良い製品が無く苦労したが、中途半端な気持ちで導入することなく、とことんこだわった。

今年はコロナ感染症対策で、大規模イベントは軒並み中止を選択。光のページェントも例外ではなく、2020年は勾当台・市民広場イベントの開催見送りなど規模を縮小。
コロナ倒産など大変ななか「今年はいいこと一個もなかった」と漏らす方も。それでも光のページェント開催の要望はとても多く、灯りだけは燈すことができました。

J-クレジット
活用2

山田建設株式会社



山田建設株式会社 代表取締役 山田　孝さん

所在地　〒999-6104　山形県最上郡最上町大字本城 396-2
電 話　0223-43-2168
URL　https://yamada-inc.jp

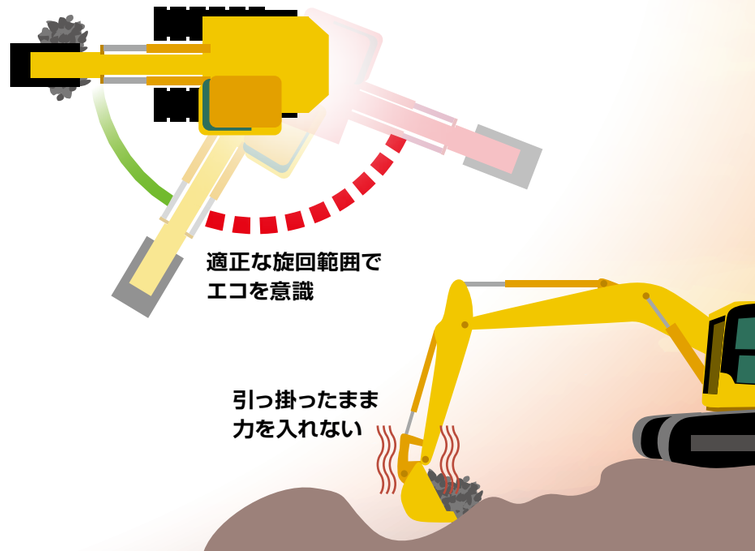
オフセット　カーボンオフセット量 **627**トン

事務所の電力にも再生可能エネルギーを利用する。

□ 私たちは事業CO_2排出量ゼロの建設会社です。

J-クレジットに繋がるきっかけは、東日本大震災です。
それまではエネルギーには頓着ない暮らしをしていたのですが、次々とライフラインがダメになっていく様を見て、原発や石油に頼らない暮らしはないものか?と模索しました。重機には軽油が必須ですが、排出抑制の壁をカーボンオフセットで乗り越えることができました。
工事現場での二酸化炭素排出の96〜7%は、重機の燃料由来となります。しかし、重機も使い方次第で燃費が改善します。うちと規模は同じなのに燃料費が半分ぐらいで済む会社もあります。例えばショベルのバケットに負荷を加え続けると燃料を余計に使います。適切な量を一回に掘って、アームの旋回も大振りしないよう段取りするだけで格段に改善します。そのため、メーカーから技術者を呼んで運転の講習会を開き、定期的に職員と研修用DVDを見ることで環境に良い操作を学んでいます。
また、重機をレンタルする際も尿素で排気を綺麗にする新型モデルを選ぶようにし、機器の更新が進むよう気を使っています。
環境への危機意識は大切だと感じています。「何かできることはないか?」という気持ちが強くあり、職員の詰所にも太陽光パネルを新たに設置する計画を立て、「仕事中にタダで充電できて良いぞ」と、車の買い替えに EV 購入を薦めてもいます。

重機メーカーの技術者とともに学ぶ、省エネ操作の講習。



J-クレジット
活用 3

横手市・森林組合

森林吸収共同プロジェクト推進協議会

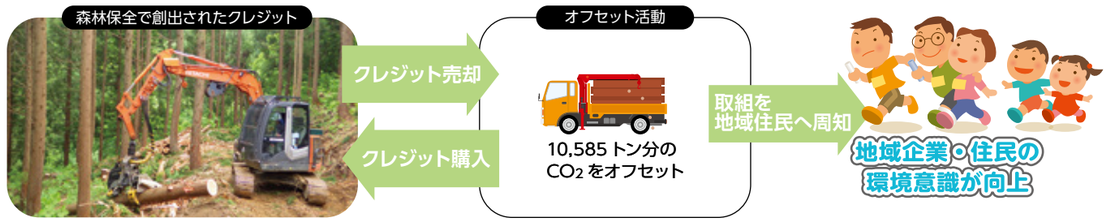
所在地　〒019-1108 秋田県横手市山内土渕字小目倉沢 34-8（横手市森林組合内）
電 話　0182-53-2281
URL　https://www.city.yokote.lg.jp/norinseibi/page000018.html

オフセット　カーボンオフセット量 **10,585** トン
実施地 / 横手市・森林組合森林吸収共同プロジェクト

住民票や封筒などに
J−クレジット活用が
明記されている

□ 身近な山をクレジット化し林業を活性化しよう

はじまりは 2011 年の横手市森林組合の発案でした。市有林や、森林組合が近隣から管理を任されている山の樹々は、木材価格の低迷による収益減により、伐期を迎えても伐採できなくなっていました。そこで、「森林資源をクレジット化し、その売却益で伐採費や運送費を補填できれば、林業を再び活性化できるのではないか?」と考えたのです。
樹木は成長する時に CO_2 を固定化します。間伐を行うなど樹木が成長するための適切な管理を行い、定期的に伐採して植え替え、世代交代をすることでより多くの CO_2 を吸収することができます。
林業は、世代を超えた資源の受け渡しをすると同時に、地球温暖化防止のためにも重要な役割を担っています。木材価格が上がらないからといって、この循環を断ち切るわけにはいきません。次世代へ受け渡していくことが大切なのです。



□ 地域への PR でクレジット購入を募る

最初はクレジットが簡単に売れるものと思いましたが、なかなか大変でした。
そこで、クレジット売却のテーマを「収益の上がる構造への転換」ではなく、より協力を求めやすい「横手の森林を守る」へと変え、まずは市役所自らがクレジットを購入し、行政の印刷物で排出される CO_2 の一部をオフセットしました。
住民票や封筒、名刺などに「この用紙は横手 J-クレジットによりカーボン・オフセットされ、横手の森林に貢献しています。」と記載し、クレジットの購入が地域貢献へつながることを PR しました。他にも各種イベント主催者にクレジット活用を呼びかけ、市民の目にとまるところでカーボン・オフセットを PR することで、次第にクレジットを購入してくれる地元企業が増えてきました。
現在は、地元の小学生がデザインしたロゴマーク入りのシールを活用しながら、さらなるカーボン・オフセットの普及・啓発を進めています。

小学生がデザインした
「横手の森林を守る活動」
ロゴマーク

J-クレジット
活用 4

斉藤商事株式会社

斉藤商事株式会社 代表取締役 尾島敏也さん

所在地　〒354-0014 埼玉県富士見市水谷 1-1-27
電 話　049-254-3110
URL　https://www.saitoshoji.co.jp

オフセット　カーボンオフセット量 **150** トン
実施地 / 福島県
磐城造林 (株) 社有林における田人町
旅人での森林吸収プロジェクト
（2019年4月）

□ ユニフォームは、動く広告

当社は、本田技研工業やブリヂストンなどの製造業、アサヒロジスティクスなどの運送業、ウエルシア薬局のようなドラッグストアなどに、企業名入りユニフォームをデザインし、製品にして納めるメーカーです。ユニフォームは企業を現わす広告と考えます。働いている人の身だしなみが美しく、機能性素材を着こなし格好が良いことは、その企業が「業績が良く」「福利厚生がしっかりしている」と、ヒントを発信するものと考えます。これを切っ掛けに、長く働いてくれる人材や、優秀な人材が集まってきてくれる。また、身だしなみが整うと会社もだんだん綺麗になる。ユニフォームは広告にもなり、さらに企業満足度が社員の満足度（CS=ES）へと結びつき、組織の総指揮力も向上する大切なアイテムであると私は考えます。
また当社は、上場企業との取組みも多く、社員の知識向上や環境に対しての意識を高める為に外部評価（ISO14001）が必須となりました。認証に際して電気や燃料などエネルギーの節約をさらに超え、もっと積極的に “プラス” に出来ることはないかと考えた末にオフセットへとたどり着き、2013 年から J-VER を取得しています。当業界でも継続している会社は多くはありません。
私たちは製品にもオフセットのタグをつけています。タグを調べてもらうとSDGsへの取り組みがわかります。ユニフォームを選ぶことで環境に貢献できることをアピールしています。
カーボンオフセット認証には様々な選択肢がありますが、私共は一貫して東日本大震災に限定した植林のオフセットを購入しています。環境に良いことが繋がりを生み、新型コロナの影響で厳しい時勢でも、おかげ様で順調に推移しております。

二酸化炭素排出の削減にむけ、バックもバイオマス製に切り替え。

植林された樹々は30年を過ぎると成長が止まり二酸化炭素を吸収しなくなる。その“切り頃”の材木を使って、本社隣接地に倉庫を建設中。

令和2年度「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」

優秀賞 東北地域カーボン・オフセット部門

株式会社宮城衛生環境公社

株式会社宮城衛生環境公社 専務取締役　砂金英輝さん

所在地　〒989-3432 宮城県仙台市青葉区熊ケ根字野川26番地の6
電 話　022-393-2216
URL　http://www.miyagi-ek.co.jp

オフセット　宮城県産クレジット活用量 **32** トン

切り替えを予定している現車両。次世代の車両は高価格で、積載量も少ない。企業努力だけでは解決できない問題なので、技術革新に期待しつつ行政とも共同で脱炭素化を進めたい。

□再生可能エネルギー施設の稼働が開始。脱炭素化に取り組み、地元に愛される企業へ！

事業所で使用する電力のカーボンオフセット化を 2020 年から実現してきましたが、2021 年の２月に太陽光発電設備が完成し、その一部を再生可能エネルギーで賄うことができるようになりました。発電容量は 21.9kW で、太陽高度の低い 2 月でも再生可能エネルギー供給率の 90%を実現しています。計画では 32%のエネルギーを太陽光発電に切り替え、残りは J- クレジットを活用し脱炭素化をしました。

2021 年度には新しくプラグインハイブリッド（PHV）車を 2 台導入しました（※V2H 補助金 / 欄外参照）。この車両の内蔵バッテリーと太陽光発電設備の 16.8kWh のリチウムイオンバッテリー蓄電設備を併用し、災害時は蓄電設備からの供給で電力を維持します。設備の本格稼働で蓄積したデータは今後の電力マネージメントに活用し、ピークカットにつなげて効率の良い太陽光発電の運用を計画しています。

創業以来、廃棄物処理業を行いながら盤石な経営基盤を築いてきましたが、ESG、国連の定める SDGs など近年の環境意識の高まりを考えると、脱炭素化を早期に取り組むことが企業存続の意義として大切だと考えました。仙台市の温室効果ガス削減アクションプログラムにも参加しており、現在は、国際機関の定める温室効果ガス排出削減目標の認定である SBT（Science Based Targets）認証取得を目指し準備中です。運用車両も 100 台以上ありますが、燃費効率の良い新型への買い替えロードマップを作り、さらに FCV（水素燃料自動車）や EV（電気自動車）も視野に入れ新しい道を模索しています。これまで地元に愛される仕事をしてきましたが、それ以上を目指すために、さらなる脱炭素化を進めます。

公益社団法人 全国産業資源循環連合会の発行する業界誌 INDUST9 月号特集記事「低炭素から脱炭素へ！？」にて、中小企業にも求められる脱炭素経営の先進事例として紹介され、別枠で 4 ページの記事も執筆。環境省の発行する中小規模事業者のための脱炭素経営ハンドブックにもモデル事業として紹介されました。
業界全体では脱炭素化に先駆けて推進したので、いくつか問い合わせが来ています。（出典：INDUST 9 月号）

設備の整備には年度の違う２種類の補助金が活用された。
2020年／再生可能エネルギー等設備導入支援事業
2021年／太陽光発電を活用した EV 利用モデル導入支援事業（V2H=Vehicle to Home ）

おむすび（120g）の販売で、
100g の二酸化炭素をオフセット

奨励賞 東北地域カーボン・オフセット部門

株式会社アールエイチ企画

所在地　〒965-0007 福島県会津若松市飯盛 3-3-34
電 話　0242-28-5623
URL　https://rh-kikaku.jp

オフセット　東北産クレジット活用量 **1** トン

道の駅　ばんだい

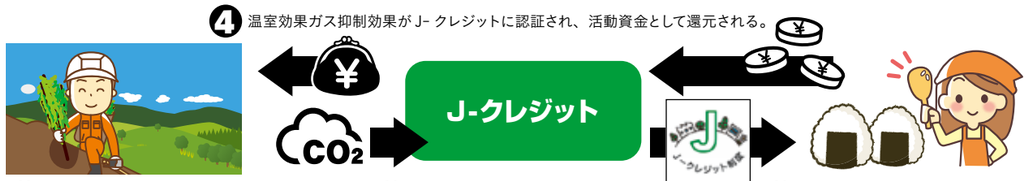
□おむすびの販売で、会津の森を育てる

磐梯ゴールドラインの猪苗代湖側出口に近く、多くの観光客が立ち寄る「道の駅　ばんだい」に、2020年７月、軽食コーナー「おむすび屋 Cafe 磐梯」をオープンしました。

カーボンオフセットグランプリ奨励賞受賞のきっかけとなったのは、店舗で提供している「おむすび」です。

福島県の27年度推奨米である「里山の粒」は、磐梯町のような中山間地で作られる品種です。地域の農家で作られたお米で美味しい食事を提供する。里山の粒を PR するためにテナントとして入居しました。

このおむすびのコンセプトは3 つあります。1つ。磐梯町生産の里山の粒を使っていること。2つ。環境省選定の日本名水百選に選ばれた磐梯西山麓湧水群の水を使用していること。３つ。このおむすびは、購入されるたびに会津の森を育てていることです。この仕組みを詳しく説明しますと、おむすび一個の売り上げから１円分のカーボンオフセットのクレジットを購入しています。購入先は会津の森林保全です。おむすび一個はご飯 120g で作られており、１円で購入できるオフセットの二酸化炭素量は 100g 分です。つまり、おむすびを一個買うと、だいたい同じ重量の二酸化炭素がオフセットでき、さらに会津の森が豊かになるという仕組みです。このおむすびは、一昨年の提供開始から 2022年１月の時点で 9,373 個販売できましたので、１年 7ヶ月で 937.3kg の二酸化炭素をオフセットしました。磐梯町は会津地方の仏教文化の始まりの地であり、旧跡慧日寺を取り囲む自然が、豊かな水環境を恵んでくれています。そして、小さなおにぎりが、会津の森を着々と育てています。



❶ 森林の保全活動により生み出された温室効果ガスの抑制効果を J- クレジットとして、認証を経て登録する

❷ 認証された J- クレジットを Web サイトで紹介。仲介事業者からも販売。

❸ 温室効果ガスの削減に意義を見出した事業者が J- クレジットを購入する。

J- クレジットを購入すると、ロゴマークで活動をアピールできる！

左 / 軽食コーナー
「おむすび屋 Cafe 磐梯」
下 / 里山の粒　生産者のみなさん

株式会社アールエイチ企画
代表　門脇るり子さん

QRコードから取材時の動画を視聴できます。

受賞 J-クレジット

令和2年度「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」
東北地域再エネ推進部門

大昭和紙工産業株式会社

マーケティング室 室長 田中　裕さん

マーケティング室 兼 紙で環境対策室　吉田涼香さん

所在地　〒103-0028　東京都中央区八重洲 1-3-7
電 話　03-3281-5555
URL　https://www.daishowasiko.com

オフセット 東北産クレジット活用量 **110**トン

環境情報ポータルサイト
カンキョーダイナリー
https://www.kankyodainari.com

QRコードから取材時の動画を視聴できます。

□ 紙で環境問題の解決に挑んでます。

私達は紙の加工会社です。そして「環境問題解決カンパニー」と名乗っています。プラごみ問題は深刻なので、プラスチック製品を紙へ切り替え、環境問題を紙の分野から解決していこうと活動しています。

環境意識が強くなったタイミングで「紙で環境対策室」が設置され、部署でできることを検討する中で、カーボンオフセットの存在を知り、代理店に連絡を取ることからクレジット導入が始まりました。いまは営業所が排出する二酸化炭素をオフセットしています。当社の紙袋を利用いただくと、森林伐採につながるというイメージがつくので、クレジット選定の際には植樹由来を選び工場で作った紙袋をまずはオフセットしました。今回の導入にあたっては代理店を通すことで J- クレジット導入準備が出来てよかったです。その後、工場全体をオフセットするには費用が大きいので、営業所のオフセットを実行しました。いまは営業職員の名刺に口ゴマークを入れて展開しており、最近では、お客様から環境に優しい商品についてのお問い合わせも増えてます。

最近のことですが、カンキョーダイナリーという情報ポータルサイトを立ち上げました。「大なり小なり」からヒントを得てダイナリーです。環境に配慮した暮らしの記事や短編動画を配信する情報ポータルサイトで、環境に優しい商品の販売も行っています。お客様の暮らしの中に「環境」が取り入れられるように、さらに広く取り組んでいきたいと思います。

保護層をかんたんに剥がせる脱皮袋

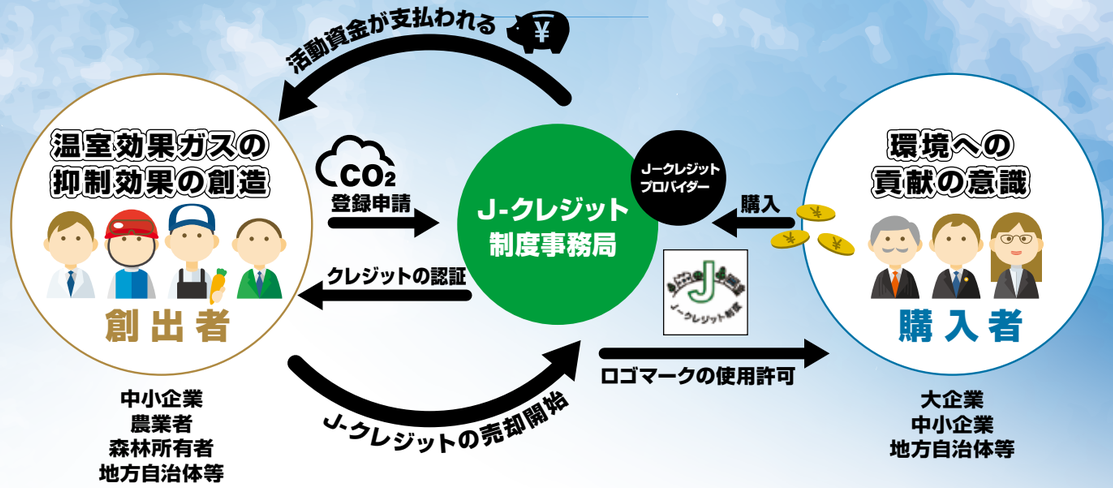
各自治体との取り組みで
環境配慮型商品を
利用してもらってます。

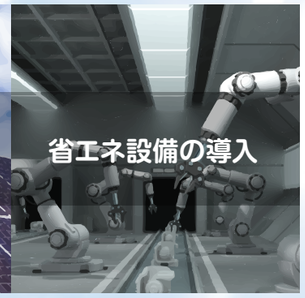
J-クレジット制度のしくみ

「J- クレジット制度」とは、省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO_2 などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

本制度は、国内クレジット制度とオフセット・クレジット（J-VER）制度が発展的に統合した制度で、国により運営されています。

本制度により創出されたクレジットは、低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなど、様々な用途に活用できます。





創出者のメリット

J-クレジット売却益
設備投資の一部を、J - クレジットの売却益によって補い、投資費用の回収やさらなる省エネ投資に活用できます。

地球温暖化対策への取組に対するPR効果
自主的な排出削減や吸収プロジェクトを行うことで、温暖化対策に積極的な企業、団体として PR することができます。

新たなネットワークの構築
創出したJ- クレジットが、例えば、地元に縁の深い企業や地方公共団体で地産地消的に利用されるなど、新しいネットワークの構築につながります。

ランニングコストの低減
省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用により、ランニングコストの低減や、クリーンエネルギーの導入を図ることができます。

組織内の意識改革・社内教育
J-クレジット制度に参加することで、省エネの取組が具体的な数値として見える化でき、メンバーの取組意欲向上や意識改革にもつながります。

購入者のメリット

環境貢献企業としてのPR効果
J- クレジットの購入を通じて、日本各地の森林保全活動や中小企業等の省エネ活動を後押しすることができます。

企業評価の向上
省エネ法・温対法の報告への活用や、各種企業評価調査等において J- クレジット購入を PRすることで企業評価につなげることができます。

ビジネス機会獲得・ネットワーク構築
J- クレジット購入を通じて構築された、企業や地方公共団体との新たなネットワークを活用し、ビジネス機会の獲得や新たなビジネスモデルの創出につなげることができます。

製品・サービスの差別化
製品・サービスに係る CO_2 排出量をオフセットすることで、差別化・ブランディングに利用可能です。

クレジット創出のながれ

クレジットの認証・発行までには、プロジェクトの登録とモニタリング（削減量や吸収量を算定するための計測等）の 2つのステップがあります

STEP1 プロジェクトの登録

プロジェクト計画書の作成
「どんな CO_2 排出削減 / 吸収事業（省エネ設備の導入、森林管理等）を実施するか」を記載した計画書を作成します。

審査機関によるプロジェクト計画書の妥当性確認
プロジェクト計画が「プロジェクトの実態を反映したものか」、「本制度の規程に沿っているか」を本制度に登録された審査機関にて事前確認します。

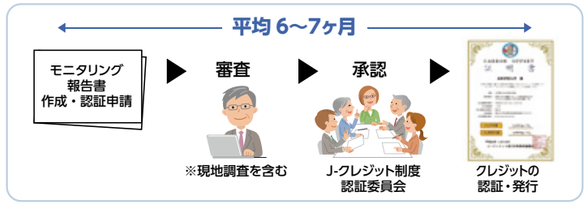
プロジェクト計画登録申請
有識者委員会に諮り、国が正式にプロジェクトを登録します。委員会に諮る申請資料を既定の提出先・方法にて提出していただきます。

プロジェクト登録完了
プロジェクトの書類作成や申請費用の支援があります。
詳しくは J-クレジットホームページでご確認ください。
https://japancredit.go.jp

STEP2 モニタリングの実施

モニタリング（燃料使用量等の計測）を実施する
プロジェクト計画に基づき、実際の温室効果ガスの排出削減・吸収量を算定するためのモニタリング（削減量等の計測）を行います。

モニタリング報告書を作成し、クレジットの認証を受ける
モニタリングの実施結果に基づき排出削減・吸収量を算定の上、「モニタリング報告書」を作成し、クレジットの認証申請を行います。



問い合わせ先
経済産業省
東北経済産業局
東北経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
TEL 022-221-4932 FAX 022-213-0757
URL http://www.tohoku.meti.go.jp/

この事例集は、印刷過程で排出するCO_2を計算し、フクシマフーズ株式会社で創出された J-クレジットによりカーボン・オフセットされています。

この冊子は環境に優しいオンデマンドプリントで作成されています。再生紙に印刷しており、板紙にリサイクルができます。

J-クレジット制度
東北地域事例集

経済産業省
東北経済産業局